

# 2022年3月期 決算説明会



～人々の健康と豊かな暮らしのために～  
<https://www.transgenic.co.jp>

**2022年5月26日**  
**株式会社トランスジェニック**

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

<b>I. 2022年3月期連結決算概要</b>	.... 2
<b>II. 「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」の 進捗状況</b>	.... 7
<b>III. 2023年3月期連結業績予想</b>	... 18
<b>IV. その他</b>	... 20

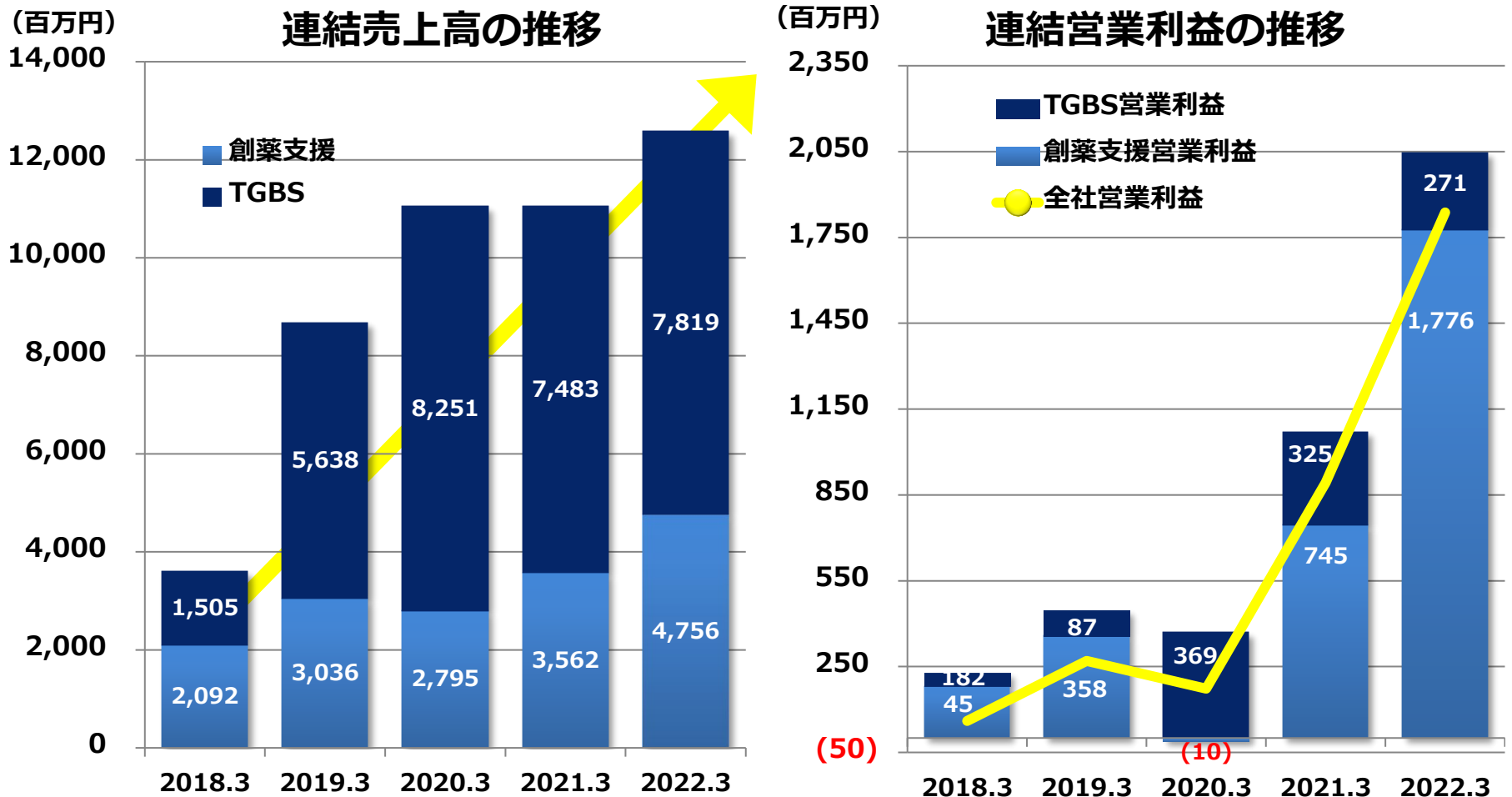


# I . 2022年3月期連結決算概要

## PCR検査受託売上が大幅に伸長し過去最高数値を更新

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	増減率 (%)
売上高	11,046	12,576	13.9
売上原価	8,269	8,740	5.7
売上総利益	2,777	3,835	38.1
販管費	1,883	1,998	6.1
営業利益	893	1,837	105.7
経常利益	891	1,819	104.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	546	1,876	243.5

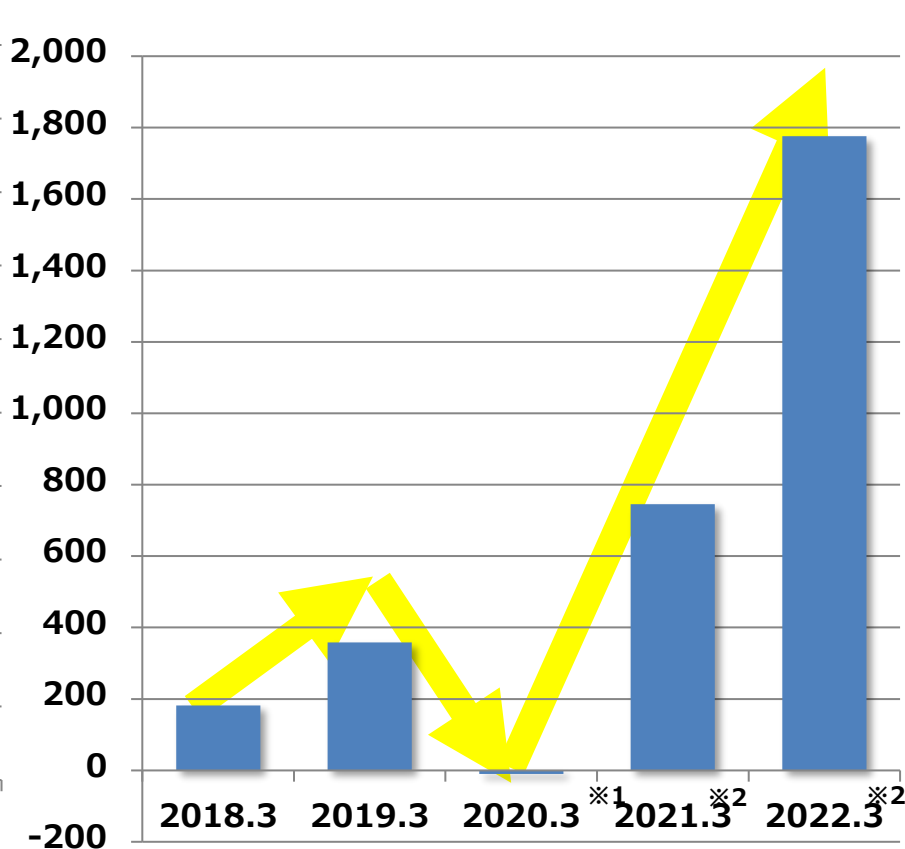
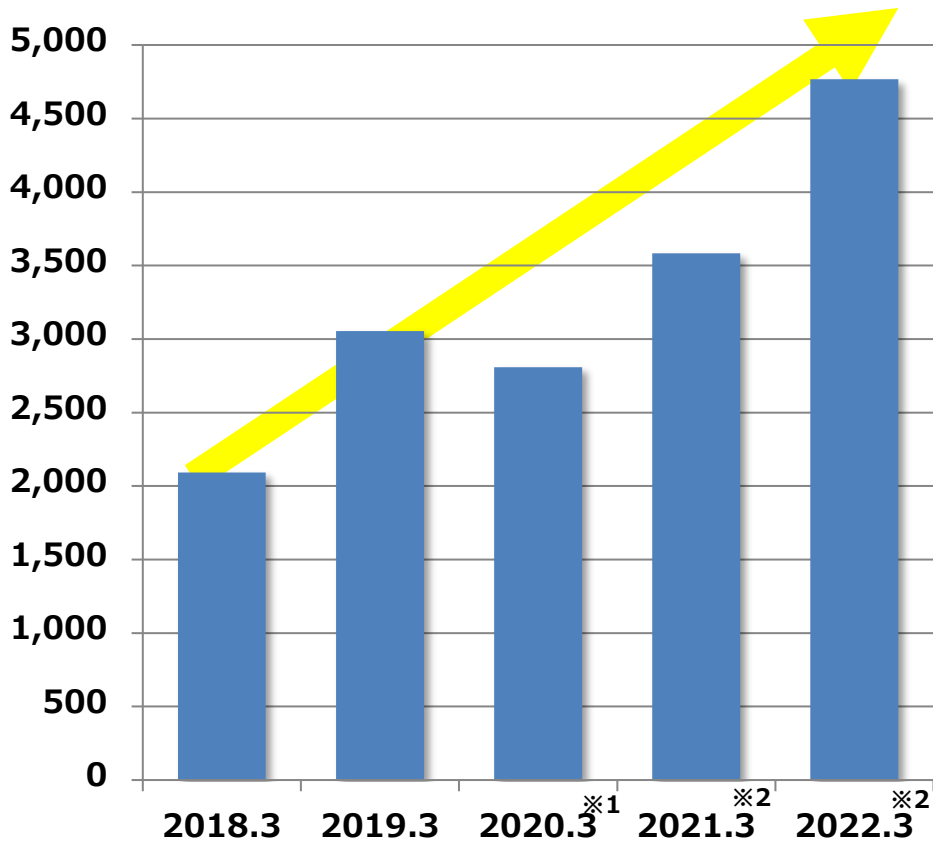
## 創薬支援事業とTGBS事業とが補完し合い連結業績は拡大 PCR検査受託が大幅に伸長し過去最高業績



## PCR検査受託売上が大幅に伸長し大幅な増収増益

(百万円) 創薬支援事業売上高の推移

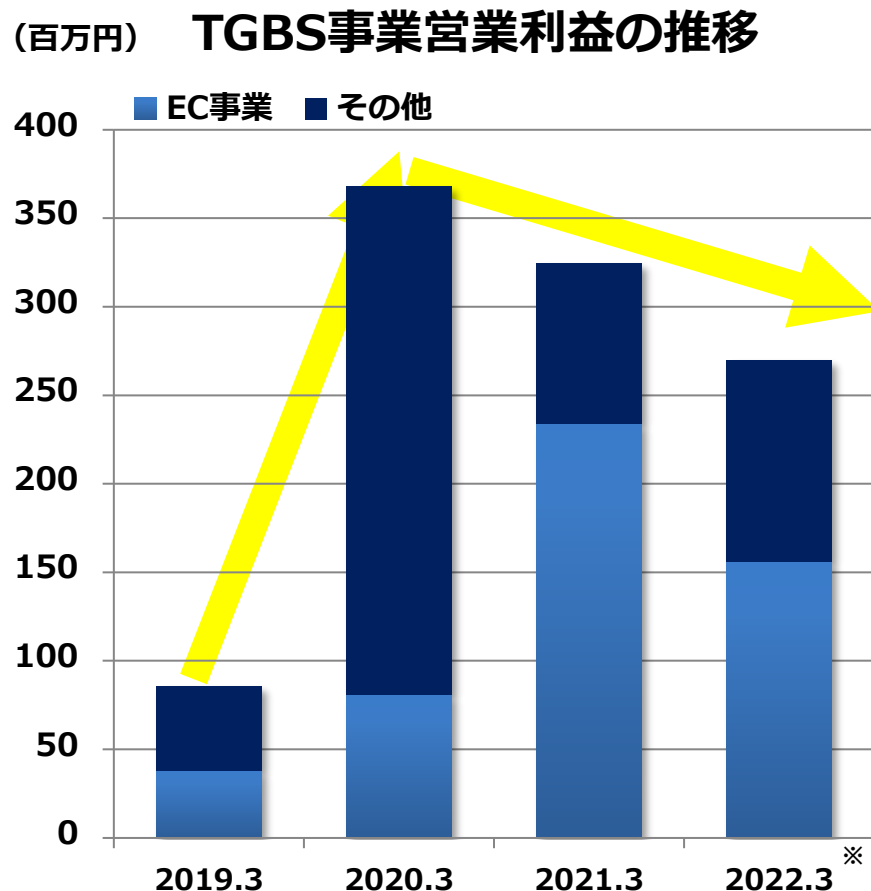
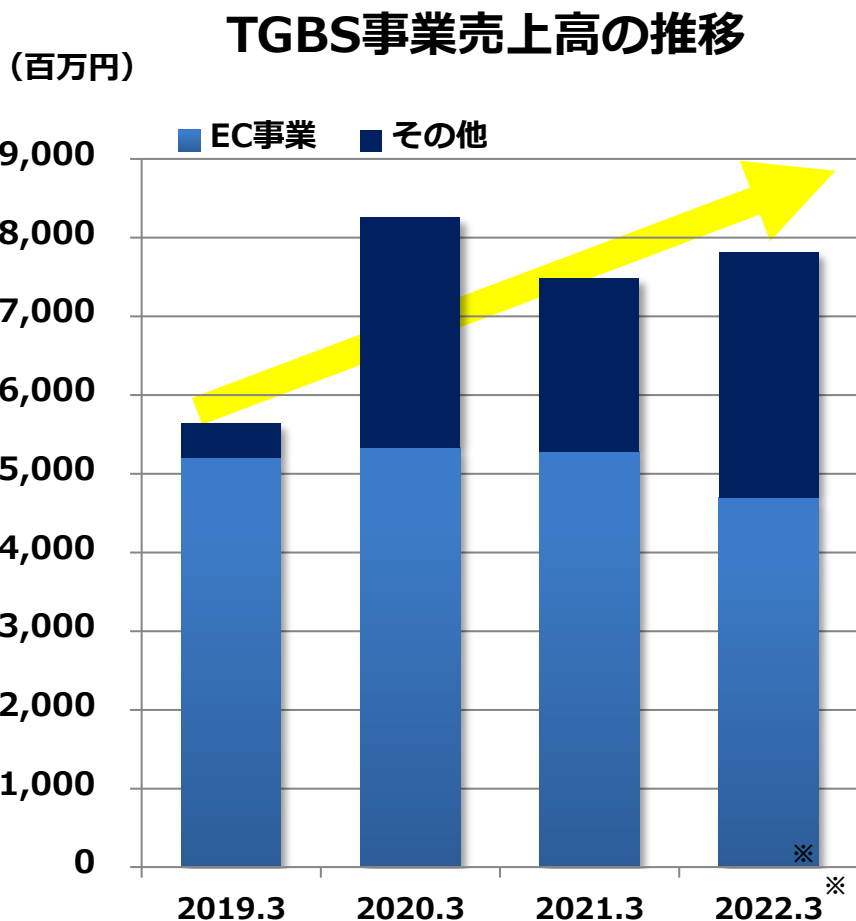
(百万円) 創薬支援事業営業利益の推移



※1 2020年3月期は、(株)安評センターにおける受注獲得体制強化に向けた先行投資負担により大幅な減益となった。

※2 2021年3月期及び2022年3月期は、コロナ禍を受けグループで実施したPCR検査受託が大幅に伸長（前期9.4億、当期19.2億）した結果、大幅な増収増益となった。

## コロナ禍で苦戦はしているが利益構図を維持し堅調に推移



※2021年3月期は、海外からの人・物の移動制限を受けて、主に商社事業で構成されている「その他」事業の売上、利益が悪化した一方で、コロナ禍を受けた巣籠り特需によりEC事業の営業利益が大幅に伸びた。2022年3月期は、前期の巣籠り特需の反動及び消費低迷を受けてEC事業が減収減益となるも、「その他」事業の売上、利益については増収増益となった。



## Ⅱ. 「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」 の進捗状況



トランスジェニックグループは、

最先端のバイオテクノロジー技術で基礎研究～臨床試験までのシームレスなサポートを提供する

『創薬支援事業』および

幅広い事業分野を対象に事業承継型M&Aを展開する

『TGBS事業』の両輪による

## Hybrid型で持続的な成長を実現

【グループ事業構図】

 **Trans Genic Inc.** ※2021年4月1日に純粋持株会社に移行

**創薬支援事業**

グループ企業6社※で構成

- 基礎・探索・創薬研究から非臨床・臨床まで網羅したシームレスな創薬支援サービスを展開
- ゲノム編集技術の他、糖鎖合成・解析等の最先端テクノロジーを保有

進捗

- ・ 2021年11月1日付で株式会社ルナパス毒性病理研究所の全株式を取得。
- ・ 2022年1月1日付で株式会社ジエネティックラボの全株式を譲渡。

**TGBS事業**  
(事業承継型M&A)

グループ企業主要6社※で構成

- 創薬支援事業の収益変動を補完する目的で収益性・安定性を主眼に事業承継型M&Aを展開

進捗

- ・ 2021年9月1日付で株式会社ホープの全株式を取得。

## 成長戦略の基本方針

最先端のバイオテクノロジー技術で展開する創薬支援事業と投資・コンサルティングを展開するTGBS事業との両輪によるHybrid型経営を推進し、継続的企業価値拡大を実現

### 創薬支援事業

- ◆ 高収益だが業績が凸凹に大きく変動しながら規模を拡大
- ◆ 事業部の業績拡大は既存サービス拡充か新規サービス開始で実現
- ◆ 業績拡大には、一般的に人・設備に対する多額の先行投資が必要
- ◆ 事業グループ横断的な研究開発体制の強化

### TGBS事業

- ◆ 急激な外部環境変化がない限り売上規模及び利益率は安定
- ◆ 事業部の業績拡大は、事業承継案件を主とするM&Aで実現
- ◆ M&A資金を除き、特段大きな先行投資は不要

両事業セグメントの特徴及び連結利益・資金収支の拡大を活かした  
Hybrid型経営で両事業の拡大を推進

## 設備投資

(2022年3月期計画)<sup>※2</sup>

(株)安評センター : LC-MS<sup>※1</sup>増設及び新規実験機器へ総額約1億80百万円投資予定

(株)新薬リサーチセンター : 新規実験用機器へ総額約40百万円投資予定

※ 1 LC-MS (Liquid Chromatography Mass Spectrometry)

LC-MS装置は、高速液体クロマトグラフ法 (HPLC) の一種に分類され、液体中の成分を固定相と移動相の相互作用の差を用いて分離し、質量検出器で検出する方法。

※ 2 2023年3月期以降も新規サービス導入、既存サービス拡充のため同水準の投資を継続予定。

進捗

## 2022年3月期設備投資実績

(株)安評センター

**総額2億66百万円の投資を実施**

- ・鼻部ばく露吸入実験装置 SIS-R24-B型導入
- ・実験大動物用次世代デジタルテレメトリーシステム<sup>※1</sup>システム導入
- ・小・中型実験動物用3DマイクロX線CTシステム CosmoScan AX導入
- ・超高感度LC-MS導入

(株)新薬リサーチセンター

**総額25百万円の投資を実施**

- ・微量生体試料分析装置HPLC-ECD/HTEC-510導入

※ 1 テレメトリーとは、遠隔操作で計測することで、非臨床試験においては実験動物に計測装置を装着し、無麻酔・非拘束条件下で血圧、心拍数、心電図を測定すること。

## 研究開発

【(株)安評センターにおける重点開発テーマ】

- ・ 新型コロナウイルスレセプターヒト化マウス  
(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 研究用エクソンヒト化マウス)
- ・ 肝臓ヒト化マウス

【医化学創薬(株)における重点開発テーマ】

- ・ 抗SARS-CoV-2スパイクタンパク抗体開発

進捗

研究開発計画		2022年3月期進捗状況
新型コロナウイルスレセプターヒト化マウス	(株)安評センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 研究用エクソンヒト化マウス完成</b></li> <li>・ <b>国立大学法人熊本大学及び当社子会社の医化学創薬株式会社とのACE2エクソンヒト化マウスを用いたSARS-CoV-2スパイクタンパク抗体に関する共同研究契約締結</b></li> </ul>
肝臓ヒト化マウス	(株)安評センター	開発中
抗SARS-CoV-2スパイクタンパク質抗体	医化学創薬(株)	開発中 熊本大学と共同研究中

上記のほか、事業グループ横断的な研究開発体制の強化を進めてまいります。

## M&A

- ・従前同様に、現在展開している創薬支援サービスの補完・強化が期待できる事業体について、M&Aを継続的に検討する。

進捗

### M&A計画

現在展開している創薬支援サービスの補完・強化が期待できる事業体について、M&Aを継続的に検討する

### 2022年3月期実績

**株式会社ルナパス毒性病理研究所の株式取得合意によるCRO事業の強化  
(2021年11月1日に子会社化)**

## 強固な財務基盤及び事業収支を背景に、更なる事業拡大に向けた投資を積極的に行う計画

### 設備投資

(2023年3月期計画)

**3社で機器投資約1億円、更新投資約1億円、総額2億円強の投資を実施予定**

- (株)安評センター : 新規実験用機器関連へ総額約40百万円  
研究所施設等の更新へ総額約70百万円投資予定
- (株)新薬リサーチセンター : 動物飼育施設・実験用機器関連へ総額約25百万円  
研究所施設等の更新へ総額約45百万円投資予定
- 医化学創薬(株) : 分析装置NMR等※1へ総額約30百万円投資予定

※1 NMR (Nuclear Magnetic Resonance (核磁気共鳴))

NMRは、原子核を磁場の中に入れて核スピンの共鳴現象を観測することで、物質の分子構造を原子レベルで解析するための装置で分子構造を原子核レベルで測定資料を非破壊で測定できます。

### 研究開発

【(株)安評センターにおける重点開発テーマ】

- ・ 肝臓ヒト化マウス

【医化学創薬(株)における重点開発テーマ】

- ・ 抗SARS-CoV-2スパイクタンパク抗体開発

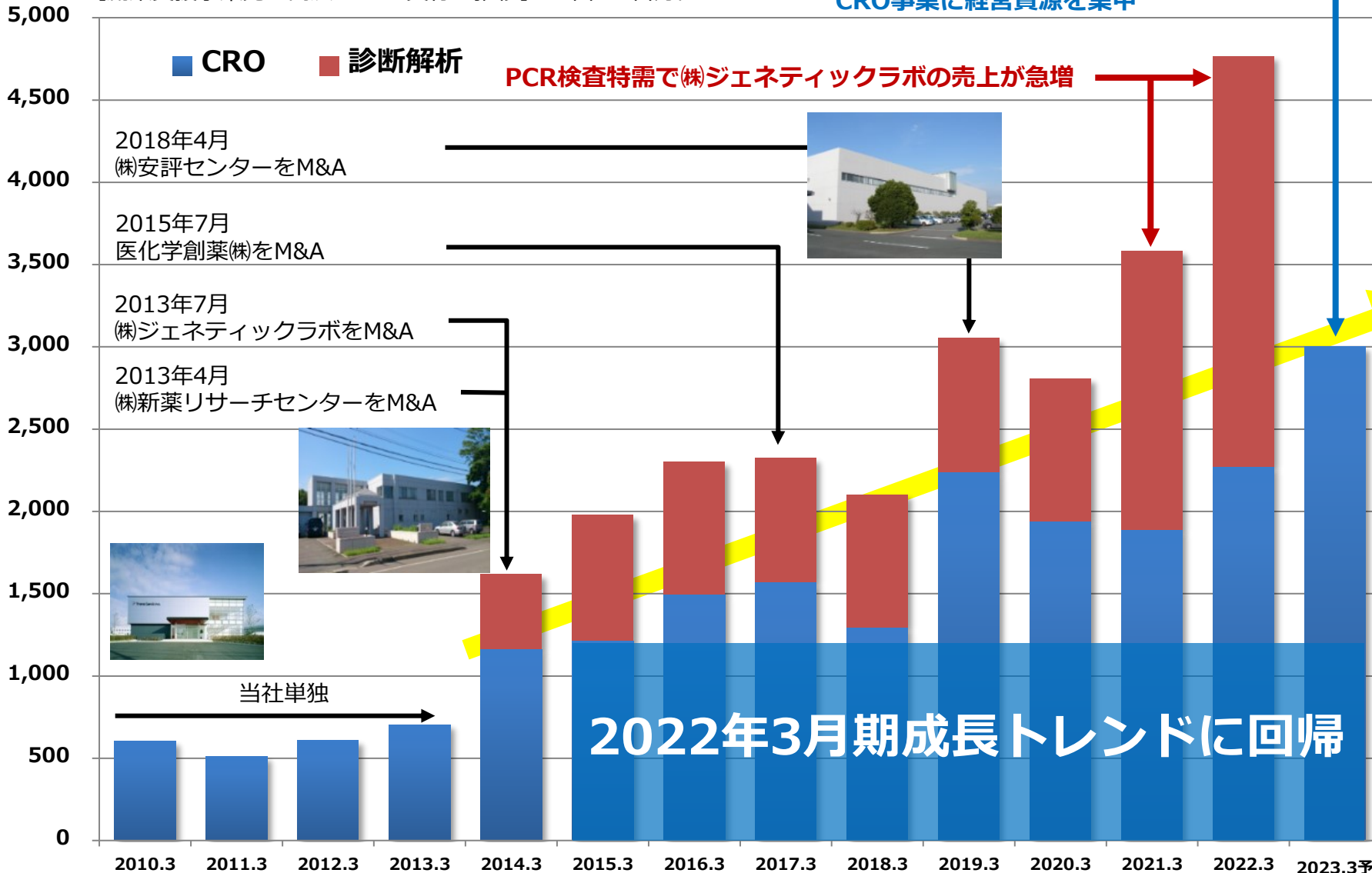
### M&A

- ・ 従前同様に、現在展開している創薬支援サービスの補完・強化が期待できる事業体について、M&Aを継続的に検討する。

# 成長戦略\_創薬支援事業売上高推移及び来期見通し

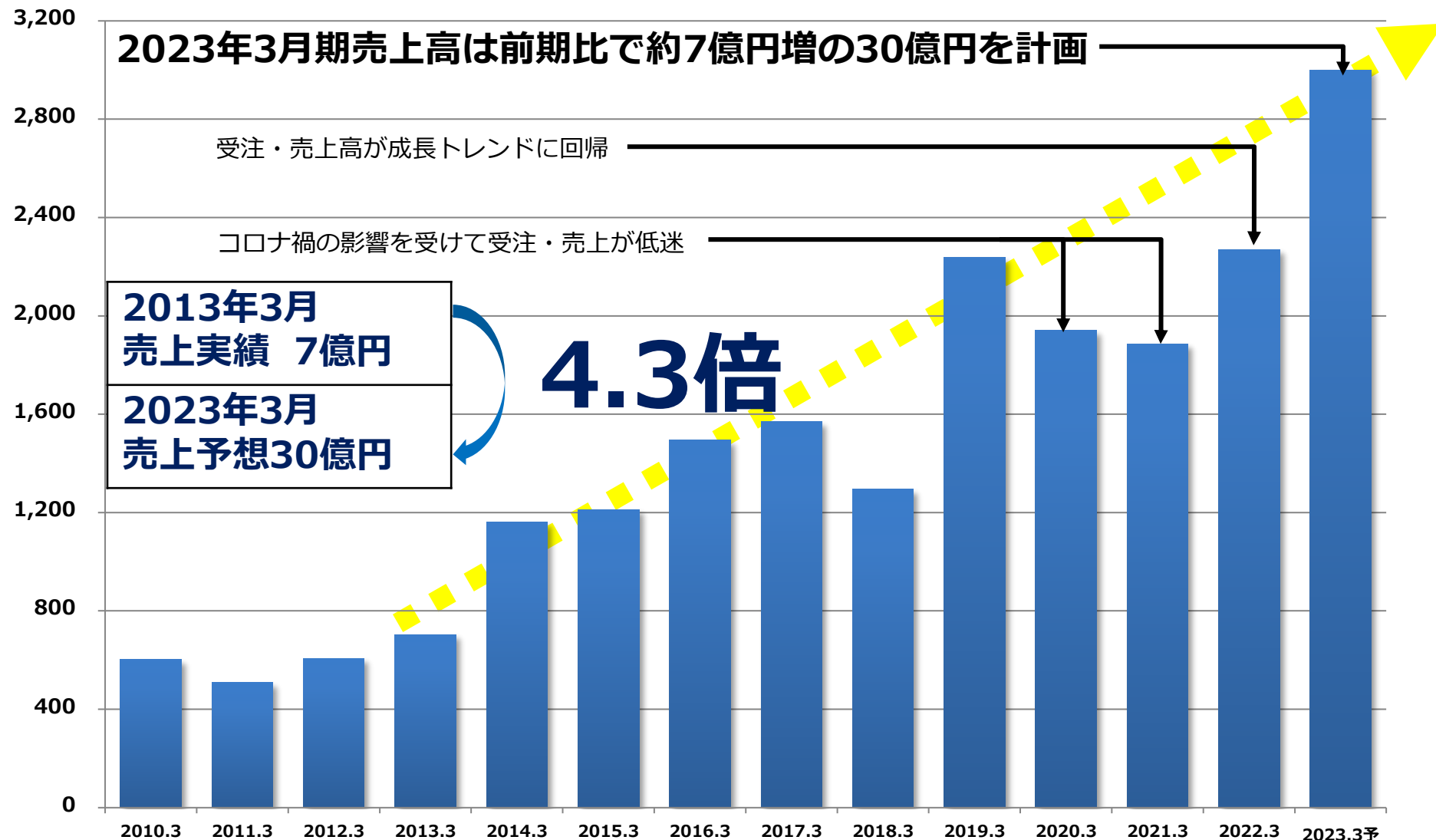
【創薬支援事業売上高及びM&A実行の推移】 単位：百万円

(株)ジェネティックラボの全株式を売却し  
CRO事業に経営資源を集中



## 売上高は4倍強に成長。今後もトレンドを維持

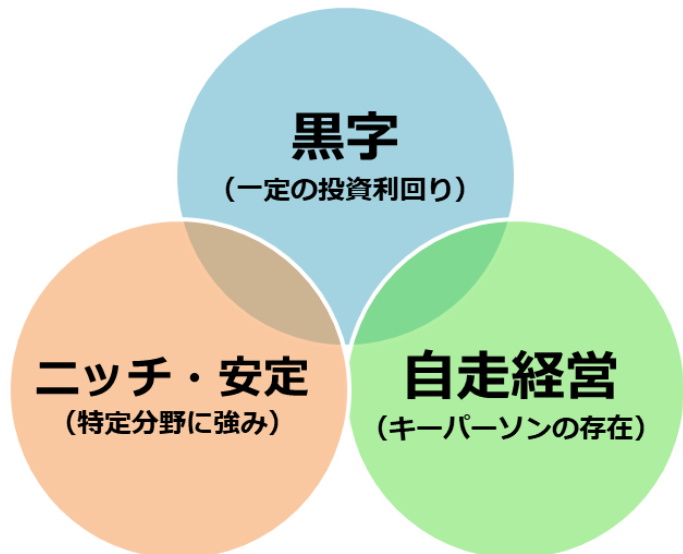
(百万円)





- 事業開始からここまでは、黒字、安定・ニッチ、自走経営をキーワードに投資効率・回収が良いEC事業及び商社事業等を中心にM&Aを展開。
- 事業開始以降の平均投資利回り(のれん償却前営業利益率)は30%弱。
- 事業開始以降の投資額累計は約16億円。収益基盤及び財務体質の強化に応じて、投資規模拡大を予定。

## 投資方針



1st : 2018~2021年3月期

投資効率が高く安定性の高い事業

EC・商社事業領域



2nd : 2022年3月期~

1st 投資領域及び相性が良い事業



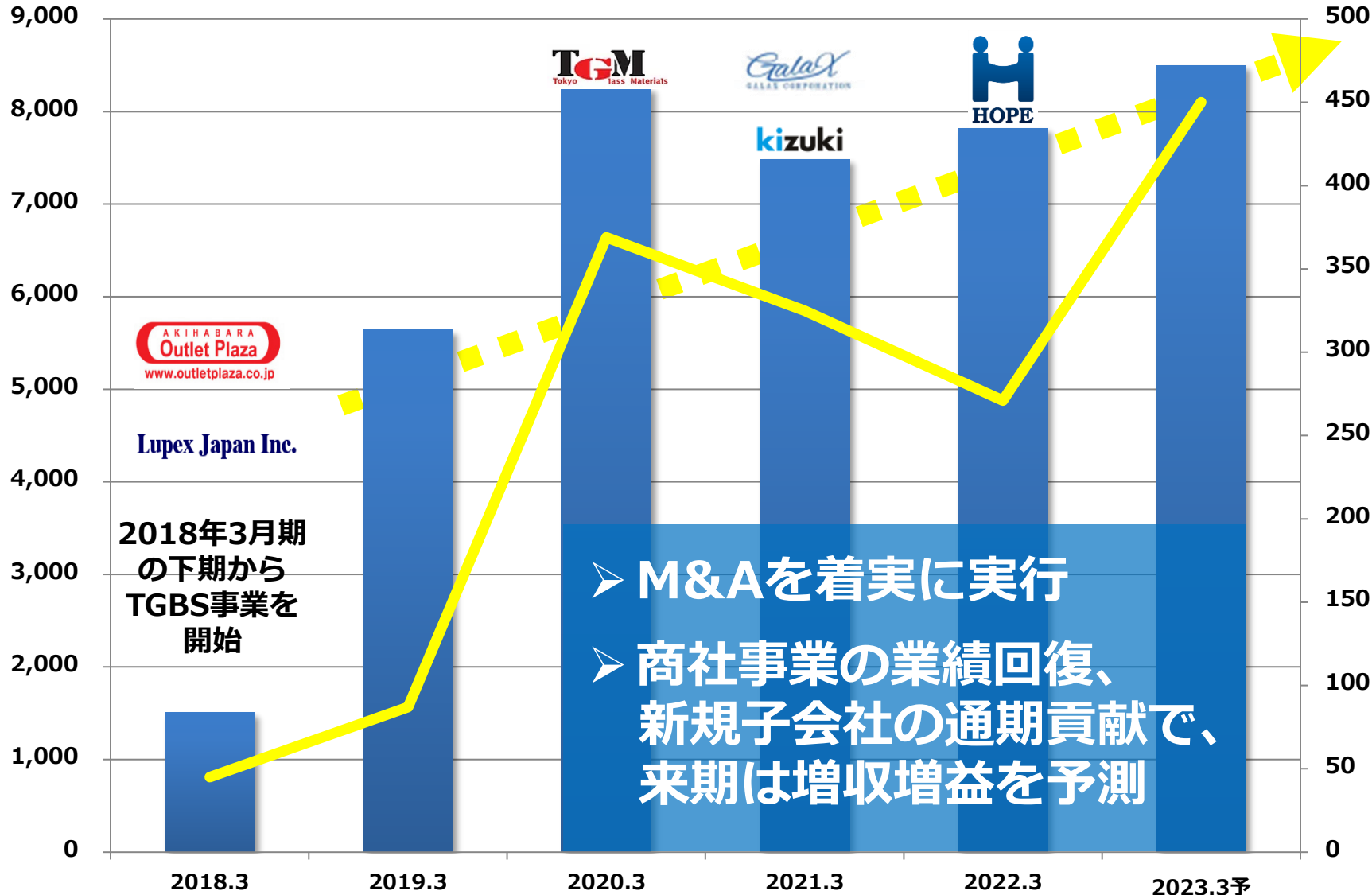
2021年9月1日付で株式会社ホープの全株式を取得

# 成長戦略\_TGBS事業業績推移及び来期見通し

売上高 【TGBS事業業績推移】 単位：百万円

■ 売上高    → 営業利益

営業利益





## Ⅲ. 2023年3月期連結業績予想

## 2023年3月期 連結業績予想

- ジェネティックラボの全株式売却により減収減益
- PCR検査特需を除いた売上・利益は過去最高の業績数値

単位：百万円	2023年3月期 (通期予想)	2022年3月期 (実績)	増減	
			百万円	%
<b>売上高</b>	<b>11,500</b>	<b>12,576</b>	<b>△1,076</b>	<b>△8.6</b>
創薬支援事業	3,000	4,767	△1,767	
TGBS事業	8,500	7,822	677	
本社・連結調整	-	△13	13	
<b>営業費用</b>	<b>10,950</b>	<b>10,739</b>	<b>210</b>	<b>2.0</b>
創薬支援事業	2,700	2,991	△291	
TGBS事業	8,050	7,551	498	
本社・連結調整	200	196	3	
<b>営業利益</b>	<b>550</b>	<b>1,837</b>	<b>△1,287</b>	<b>△70.1</b>
創薬支援事業	300	1,776	△1,476	
TGBS事業	450	271	178	
本社・連結調整	△200	△210	10	
<b>経常利益</b>	<b>500</b>	<b>1,819</b>	<b>△1,319</b>	<b>△72.5</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>330</b>	<b>1,876</b>	<b>△1,546</b>	<b>△82.4</b>



## IV. その他

## コア事業への経営資源集中を目的として同社株式を売却

【同社株式売却後のグループの財政状態及び損益構造】

単位：百万円

(コロナ前)

財政状態		2020年3月	→	2022年3月
	純現金預金※		△166	
自己資本		4,416		6,532

※純現金預金は、期末現金預金-期末有利子負債残高（社債、借入金、リース債務）で計算

損益構造		2020年3月	→	来期計画
	連結売上高		10,179※	
連結営業利益		147※		550

※2020年3月期連結売上高及び連結営業利益は、診断解析事業（株）ジェネティックラボの売上高866百万円及び営業利益26百万円を除外

29億円増加  
21億円増加

強化

13%増収  
4億円増益

成長

成長投資加速  
利益基盤拡大

### 2020～2022年3月投資実行状況

CRO事業設備投資累計額	688
M&A投資実行額	983
合計	1,671



～人々の健康と豊かな暮らしのために～

<https://www.transgenic.co.jp>

# Financial Results for FY2021



~ For Healthy and Affluent Lives of People Around The World ~  
<http://www.transgenic.co.jp>

**May 25, 2022**  
**TRANS GENIC INC.**

Note: This material includes forward-looking statements based on assumptions and beliefs in light of the information currently available to management and subject to significant risks and uncertainties. Actual financial results may differ materially depending on a number of factors including adverse economic conditions, delays in new product launch, pricing and product initiatives of competitors, the inability of the company to market existing and new product effectively.





<b>I . Consolidated Financial Results Summary for FY2021</b>	<b>..... 2</b>
<b>II . Progress Report of “Explanatory Material on Business Plans and Growth Potential”</b>	<b>..... 7</b>
<b>III . Consolidated Business Forecast for FY2022</b>	<b>..... 18</b>
<b>IV . Others</b>	<b>..... 20</b>



# I . Consolidated Financial Results Summary for FY2021

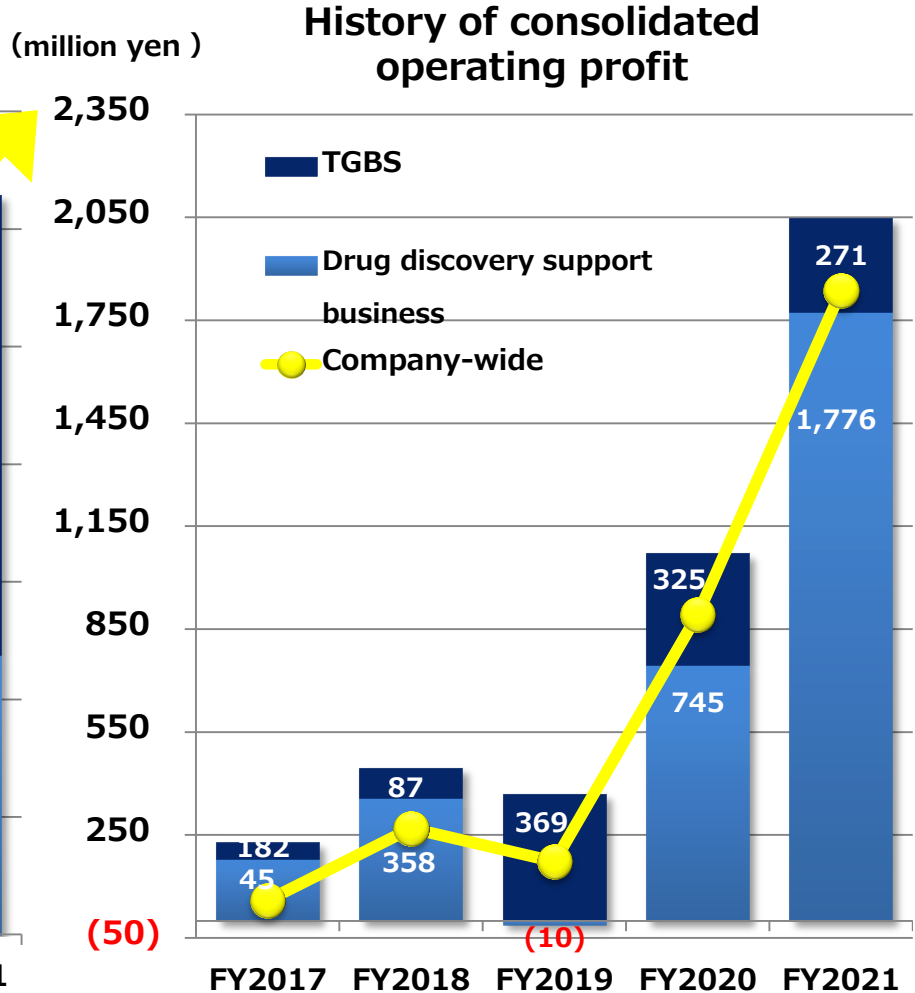
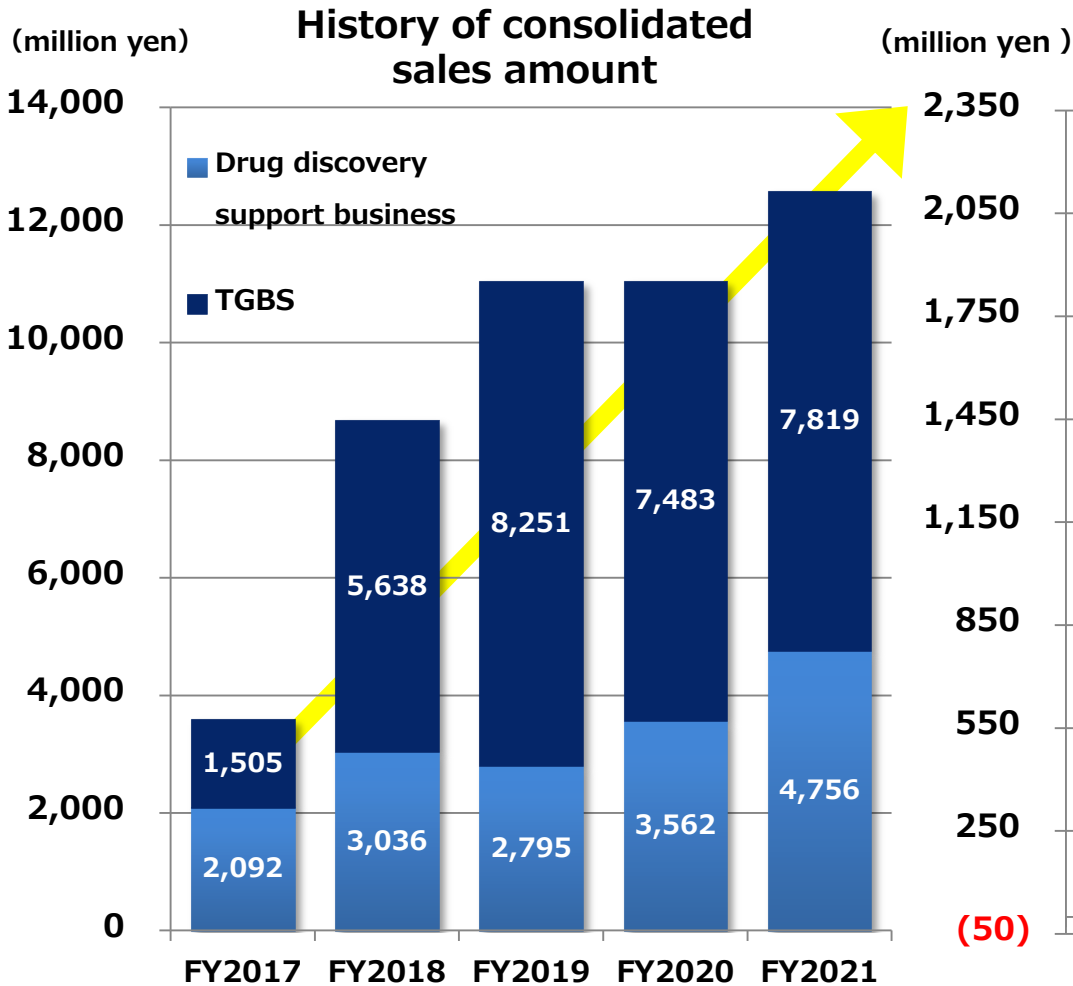
# Consolidated Financial Results Highlight of FY2021

**Business performance of FY2021 hit a record high owing to substantial increase of PCR testing service**

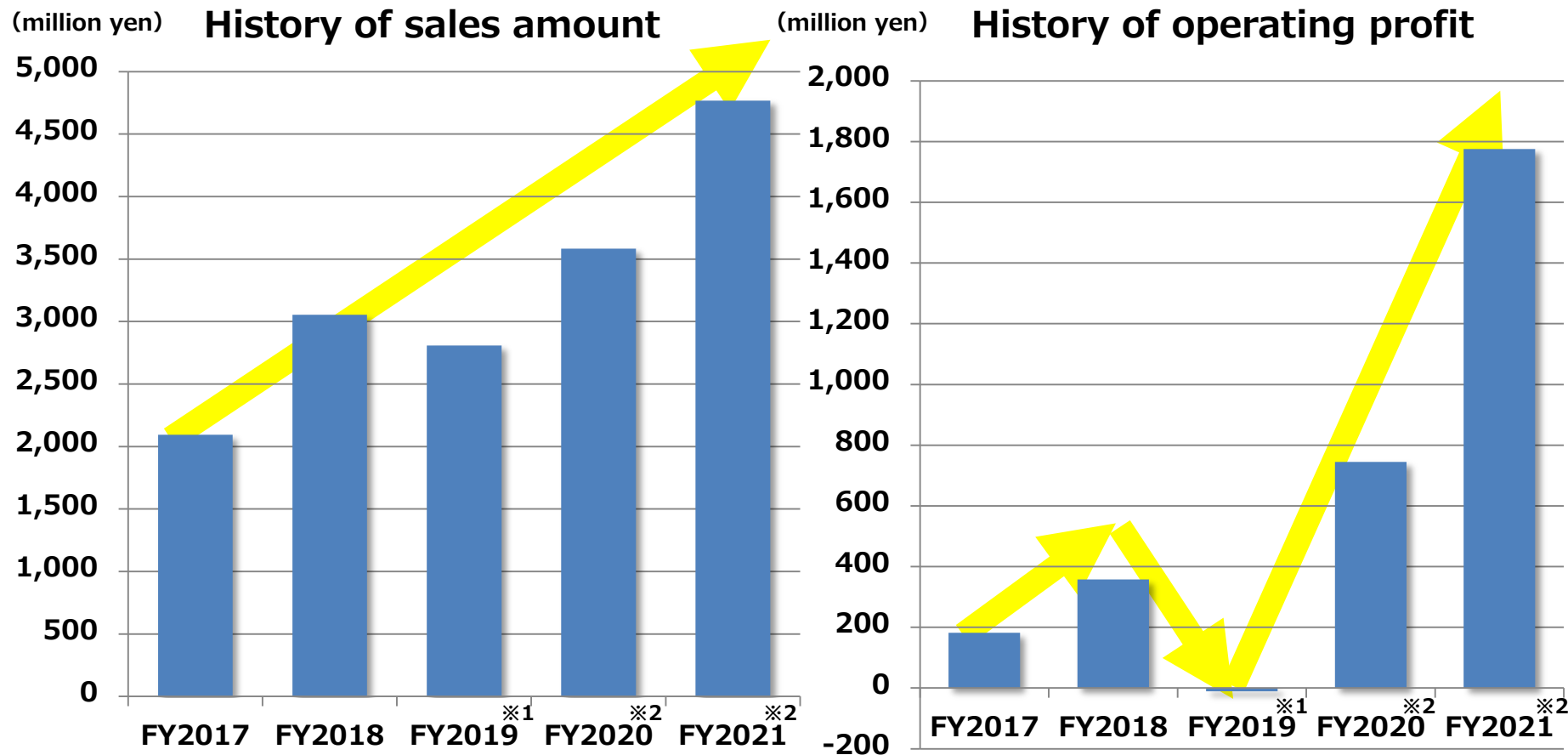
	FY2020	FY2021	Change (%)
<b>Net sales</b>	<b>11,046</b>	<b>12,576</b>	<b>13.9</b>
Cost of sales	8,269	8,740	5.7
<b>Gross operating income</b>	<b>2,777</b>	<b>3,835</b>	<b>38.1</b>
SG&A expenses	1,883	1,998	6.1
<b>Operating profit</b>	<b>893</b>	<b>1,837</b>	<b>105.7</b>
<b>Recurring profit</b>	<b>891</b>	<b>1,819</b>	<b>104.0</b>
<b>Net profit attributable to shareholders of parent company</b>	<b>546</b>	<b>1,876</b>	<b>243.5</b>

# History of TransGenic Group's Business Performance

Consolidated business performance has been increasing on the whole, and hit a record high owing to drastic increase of PCR testing service.



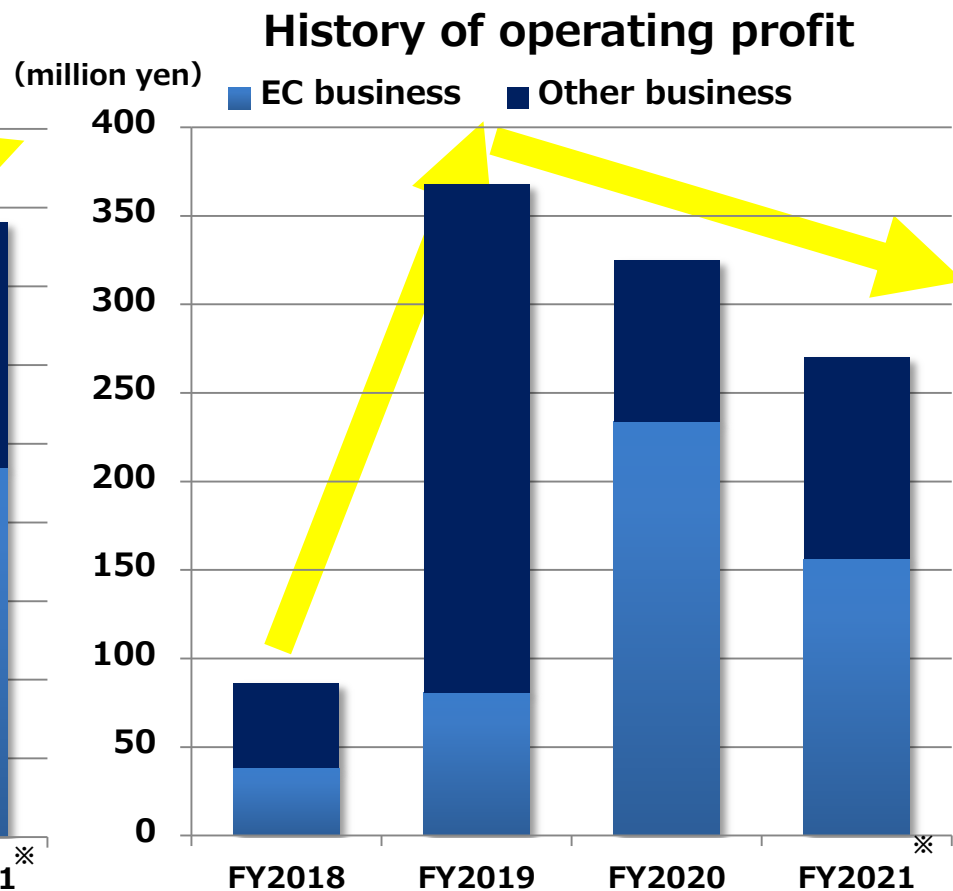
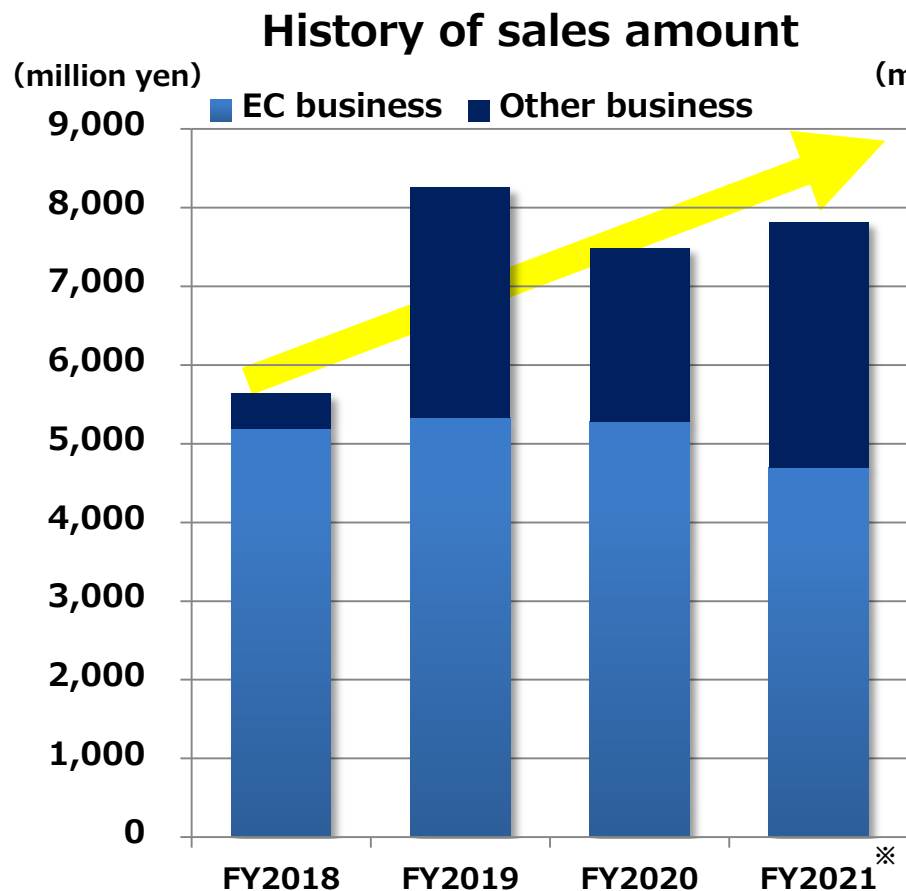
## Sales and profit increased significantly owing to drastic sales growth in PCR testing service



※1 Business performance of FY2019 declined significantly due to prior investment in the enhancement of production capacity at BSRC.  
 ※2 Sales and profit of FY2020 and FY2021 showed drastic increase as a result of significant increase of PCR testing service (0.94 billion yen in FY2020, 1.92 billion yen in FY2021) due to COVID-19 pandemic.

# History of Business Performance in TGBS Business

**Business performance remained steady by maintaining earnings structure despite continuing difficulty due to COVID-19 pandemic**



※ In FY2020, sales and profit in “Other business”, mainly composed of trading business, declined due to movement restriction from overseas, but operating profit of E-commerce business increased significantly owing to stay-at-home demand. In FY2021, sales and profit of E-commerce business decreased because of low customer spending by rebound of stay-at-home demand, but those of “Other business” increased.



## **II. Progress Report of “Explanatory Material on Business Plans and Growth Potential”**

# Business Summary of TransGenic Group

TransGenic Group will pursue **continuous and hybrid-type growth** led by two businesses:

## “Drug Discovery Support Business”

providing seamless support including basic research and clinical study by utilizing cutting-edge biotechnology, and

## “TGBS Business”

providing business succession-type M&A in a wide range of business field

### 【Business structure】



※Shifted to pure holding company on April 1, 2021

### Drug discovery support business

Composed of 6 group companies※

- Seamless support for drug discovery that covers basic/exploratory/drug discovery research and non-clinical/clinical study
- Utilizing cutting-edge technologies such as genome editing technology, synthesis and analysis of sugar chain

progress

### TGBS business (Business succession-type M&A)

Composed of 6 major group companies※

- Business succession-type M&A focusing on profitability and stability for the purpose of covering fluctuations in earnings of drug discovery support business

progress

- Acquired all shares of LunaPath LLC on Nov. 1, 2021
- Transferred all shares of GeneticLab Co.,LTD. on Jan. 1, 2022

- Acquired all shares of HOPE INC. on Sep.1, 2021



## Basic policy of growth strategy


TransGenic Group will expand corporate value continuously by pursuing hybrid-type management led by “Drug discovery support business” utilizing cutting-edge biotechnology and “TGBS business” providing investment/consulting

### Drug discovery support business

- ◆ Business is highly profitable, but fluctuates considerably
- ◆ Business can be expanded by improving existing service or launching new service
- ◆ In general, large-scale prior investment in human and equipment is necessary
- ◆ Reinforcing cross-sectoral R&D system

### TGBS business

- ◆ Sales volume and profit ratio are stable unless there is rapid change in external environment
- ◆ Business can be expanded by M&A, mainly business succession
- ◆ Large-scale prior investment is not necessary except for funds for M&A



TransGenic will operate hybrid-type management to expand both business by utilizing features of both business and enlarging consolidated profit and funds

# Growth Strategy

## -Progress of Capital Investment in Drug Discovery Support Business

### Capital investment

(plan of FY2021)<sup>※2</sup>

BSRC	: Total investment of 180 million yen in additional installation of LC-MS <sup>※1</sup> and new experimental equipment
NDRC	: Investment of 40 million yen in new experimental equipment

※ 1 LC-MS (Liquid Chromatography Mass Spectrometry) device is one of high-performance liquid chromatographic systems (HPLC). Compound dissolved in solvent is separated by using the difference of partitioning behavior in stationary phase mobile, and detected in mass detector.

※ 2 Same level of investment will be continued after FY2022 for introduction of new services and expansion of existing business.

progress

### Result in FY2021

BSRC	<p><b>Investment of 266 million yen was made</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Nose only inhalation exposure testing equipment, model SIS-R24-B</b></li> <li>• <b>Next generation digital telemetry<sup>※1</sup> system for large experimental animal</b></li> <li>• <b>3D X-ray micro-CT system for small- and medium- sized laboratory animals, model CosmoScan AX</b></li> <li>• <b>Ultrasensitive LC-MS</b></li> </ul>
NDRC	<p><b>Investment of 25 million yen was made</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Microscale biological sample analyzer, model HPLC-ECD/HTEC-510</b></li> </ul>

※ 1 Telemetry is the science and technology of automatic measurement of data from remote sources. In non-clinical study, measurement equipment is attached to experimental animals, and electrocardiogram examination, blood pressure measurement, and heart late measurement are conducted under unanesthetized and unrestrained condition.

# Growth Strategy

## -Progress of R&D in Drug Discovery Support Business

### R&D

【Focused development theme in BSRC】

- Mouse model with humanized COVID-19 receptor  
(mouse model with humanized exon for COVID-19 research)
- Mouse model with humanized liver

【Focused development theme in MCP】

- Anti-SARS-CoV-2 spike protein antibodies



R&D plan		Result in FY2021
Mouse model with humanized COVID-19 receptor	BSRC	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The development of mouse model with humanized exon for COVID-19 research is completed</li> <li>• Collaborative research agreement between Kumamoto University and MCP on anti-SARS-CoV-2 spike protein antibodies using mouse model with humanized ACE2 exon was concluded</li> </ul>
Mouse model with humanized liver	BSRC	Under development
Anti-SARS-CoV-2 spike protein antibodies	MCP	Under development Collaborative research with Kumamoto University is ongoing

TransGenic Group will promote the enhancement of cross-sectoral R&D system other than the plans mentioned above.

# Growth Strategy

## –Progress of M&A Investment in Drug Discovery Support Business

### M&A

- M&A is considered continuously with business entities which can complement and enhance existing drug discovery supporting service as before

progress

### M&A plan

M&A with business entities which can complement and enhance existing drug discovery supporting service is considered continuously

### Result in FY2021

**LunaPath LLC was acquired to reinforce CRO business**  
**(LunaPath LLC became a subsidiary of TransGenic Group on Nov. 1, 2021)**

## Growth Strategy

### –Future Investment Plan in Drug Discovery Support Business

TransGenic will make more investment actively in order to expand business by utilizing strong financial foundation and cash flow

#### Capital investment

(plan of FY2022)

**3 group companies will make more than 200 million yen of investment: 100 million yen in new equipment, 100 million yen in facility renewal**

BSRC : Total 40 million yen in new experimental equipment  
Total 70 million yen in renewal of research facilities

NDRC : Total 25 million yen in rearing facilities and experimental equipment  
Total 45 million yen in renewal of research facilities

MCP : Total 30 million yen in NMR ※<sup>1</sup> instrument

※<sup>1</sup>NMR (Nuclear Magnetic Resonance)

An NMR instrument allows the molecular structure of a material to be analyzed by observing and measuring the interaction of nuclear spins when placed in a powerful magnetic field. Sample measurements by NMR instrument is non-destructive and at the atomic level.

#### R&D

【Focused development theme in BSRC】

- Mouse model with humanized liver

【Focused development theme in MCP】

- Anti-SARS-CoV-2 spike protein antibodies

#### M&A

- M&A will be made continuously with business entities that have potential to complement and enhance drug discovery support business

# Growth Strategy

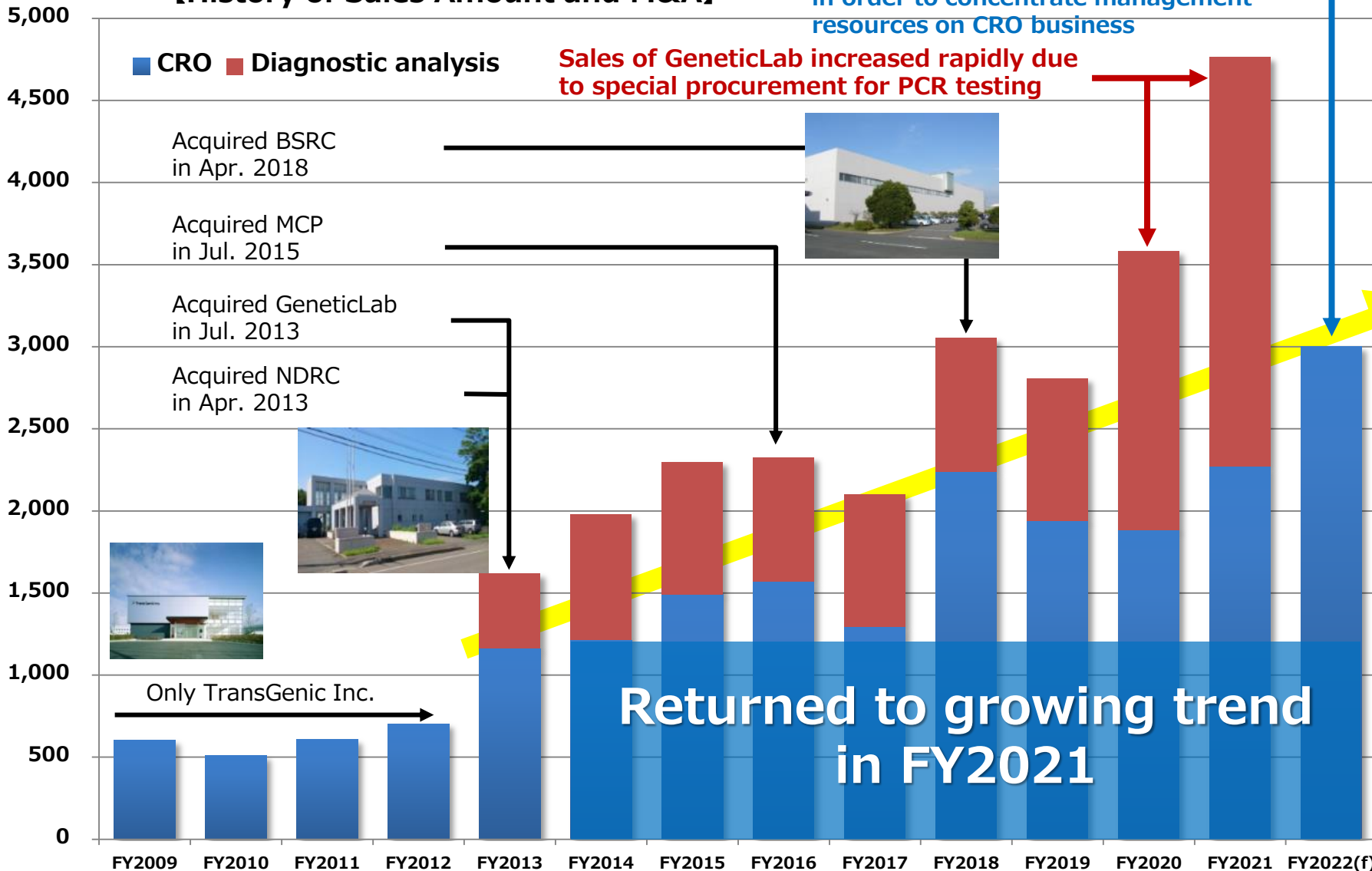
## -History and Outlook of Drug Discovery Support Business

(unit: million yen)

### 【History of Sales Amount and M&A】

All shares of GeneticLab were assigned in order to concentrate management resources on CRO business

Sales of GeneticLab increased rapidly due to special procurement for PCR testing



(million yen)  
3,200

**Sales amount increased more than fourfold, and maintains growing trend**

**Sales amount of FY2022 is expected to grow to 3 billion yen (up 0.7 billion yen YoY)**

Order and sales returned to increasing tendency

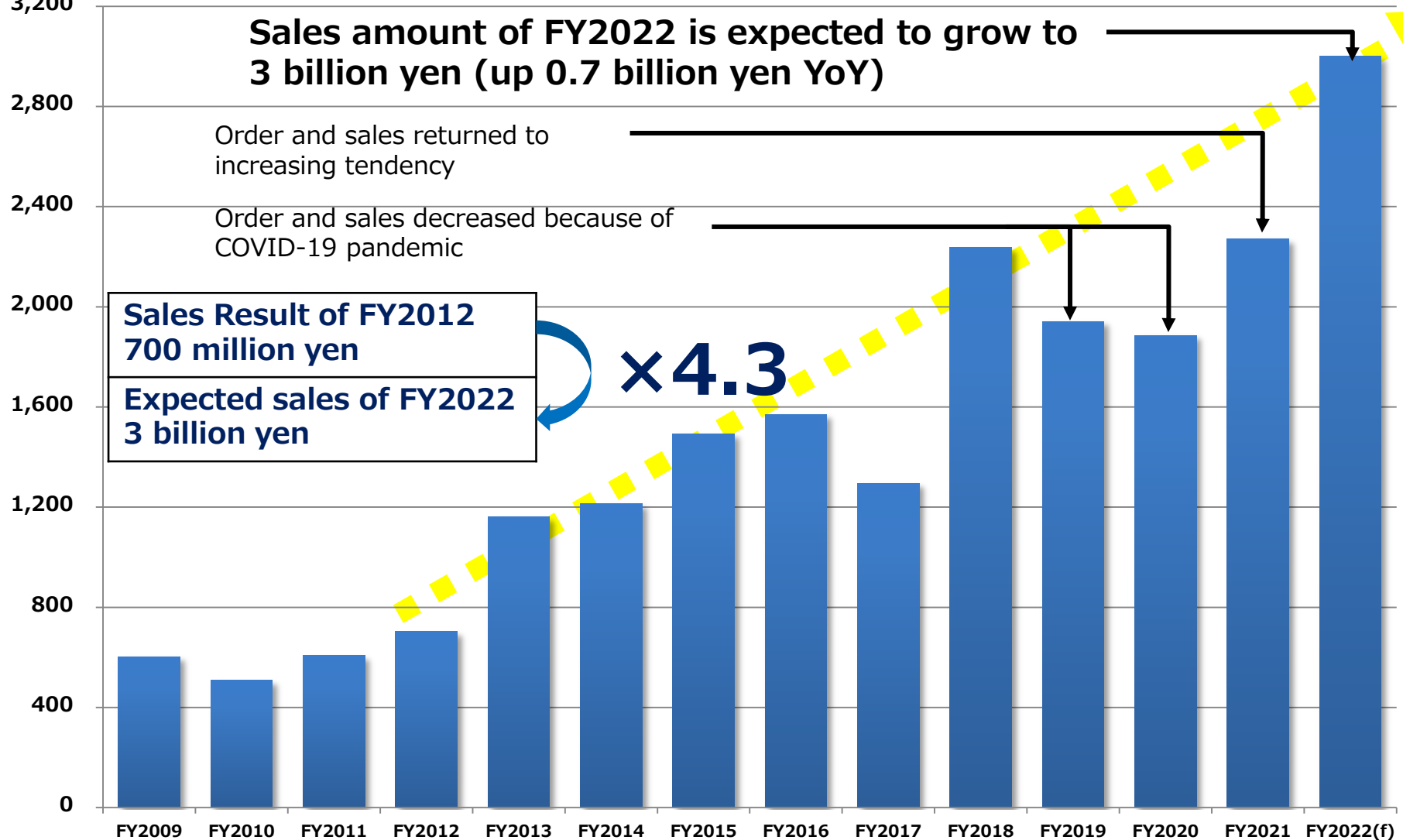
Order and sales decreased because of COVID-19 pandemic

**Sales Result of FY2012**  
700 million yen

---

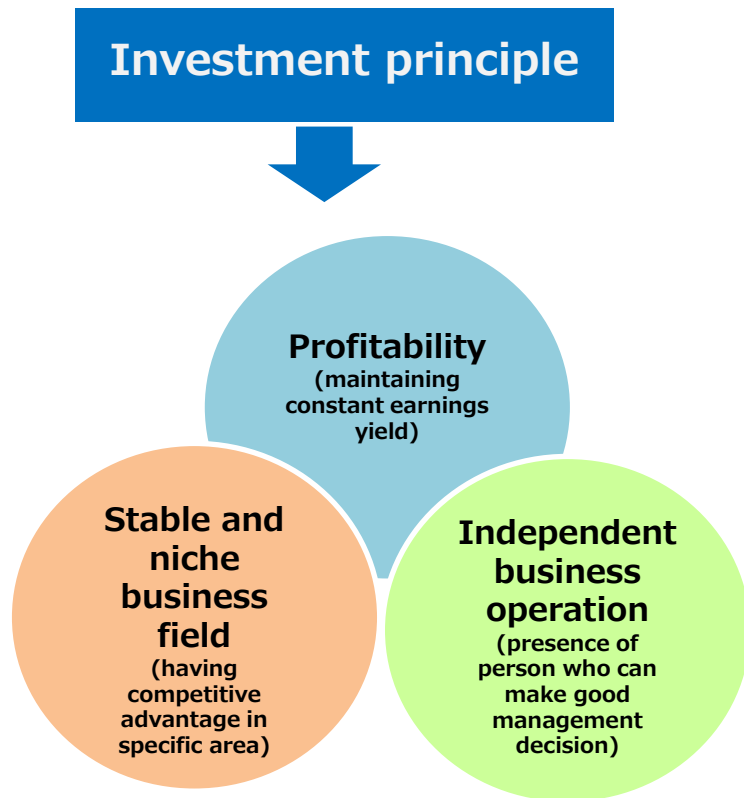
**Expected sales of FY2022**  
3 billion yen

**x4.3**



# Growth Strategy-TGBS Business (Business succession-type M&A)

- TransGenic has acquired e-commerce and trading companies having good investment efficiency and return on investment, focusing on “profitability”, “stable and niche business field”, and “independent business operation”.
- Average investment yield (operating profit margin before goodwill amortization) after business commencement is less than 30%.
- Accumulated investment is about 1.6 billion yen. Scale of investment will be expanded in response to the enhancement of revenue base and financial strength.



1<sup>st</sup> stage : FY2017 to FY2020  
Investment in business with high investment efficiency and stability

E-Commerce · Trading companies



**Lupex Japan Inc.**

2<sup>nd</sup> stage : FY2021~  
Investment in business fields chosen in 1<sup>st</sup> stage and having good compatibility with them

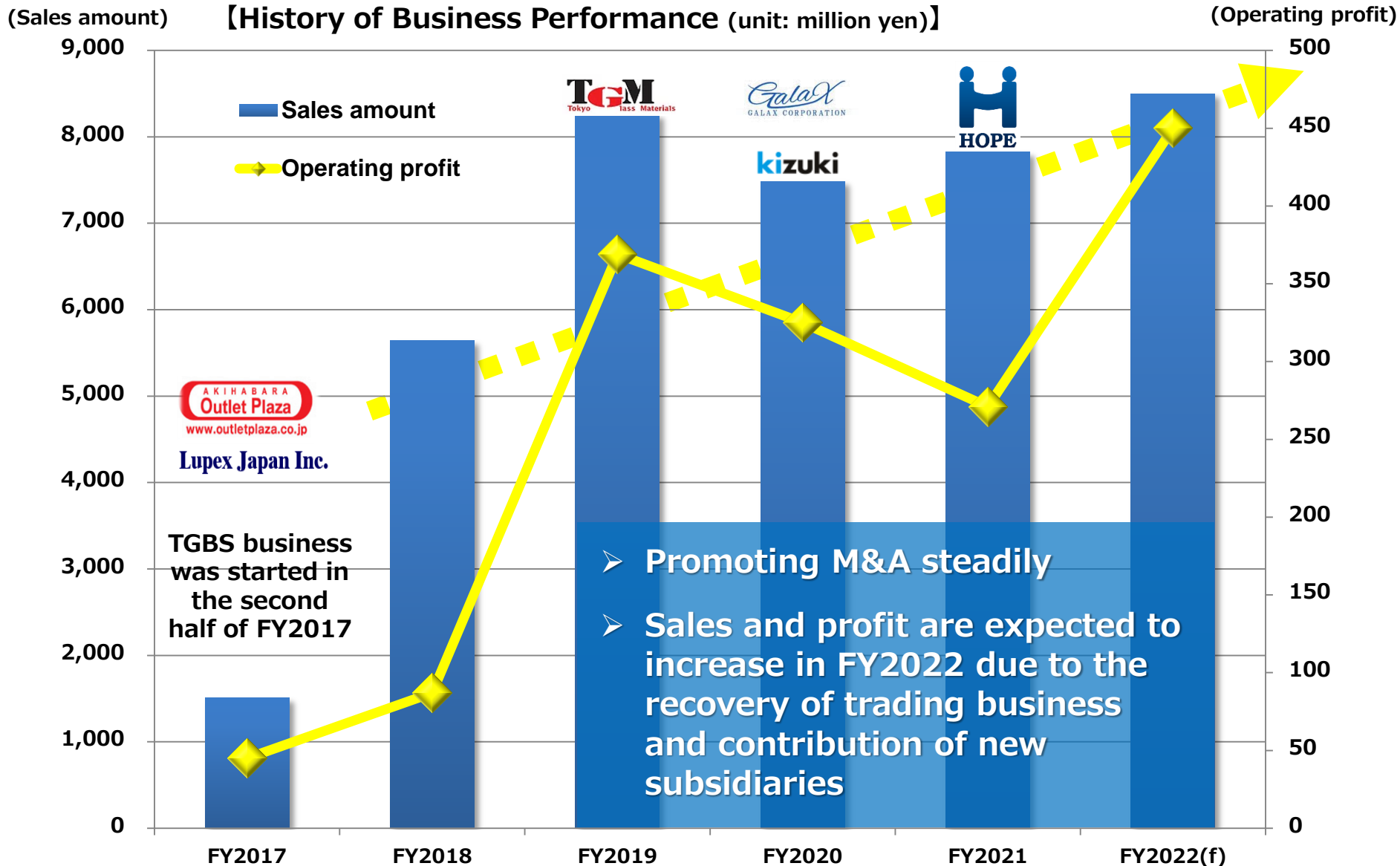


Acquired all shares of HOPE INC. on Sep.1, 2021



# Growth Strategy

## - History and Outlook of TGBS Business





# **III. Consolidated Business Forecast for FY2022**

# Consolidated Business Forecast for FY2022

- Sales and profit are estimated to decrease due to assignment of all shares of GeneticLab Co., LTD.
  - Sales and profit other than PCR testing are expected to reach a record-setting level
- (Unit: million yen)

	FY2022 (forecast)	FY2021 (result)	YoY	
			difference	%
<b>Sales amount</b>	<b>11,500</b>	<b>12,576</b>	<b>-1,076</b>	<b>-8.6</b>
Drug discovery support business	3,000	4,767	-1,767	
TGBS business	8,500	7,822	677	
Consolidated adjustment	-	-13	13	
<b>Operating expenses</b>	<b>10,950</b>	<b>10,739</b>	<b>210</b>	<b>2.0</b>
Drug discovery support business	2,700	2,991	-291	
TGBS business	8,050	7,551	498	
Consolidated adjustment	200	196	3	
<b>Operating profit</b>	<b>550</b>	<b>1,837</b>	<b>-1,287</b>	<b>-70.1</b>
Drug discovery support business	300	1,776	-1,476	
TGBS business	450	271	178	
Consolidated adjustment	-200	-210	10	
<b>Recurring profit</b>	<b>500</b>	<b>1,819</b>	<b>-1,319</b>	<b>-72.5</b>
<b>Net profit attributable to shareholders of parent company</b>	<b>330</b>	<b>1,876</b>	<b>-1,546</b>	<b>-82.4</b>

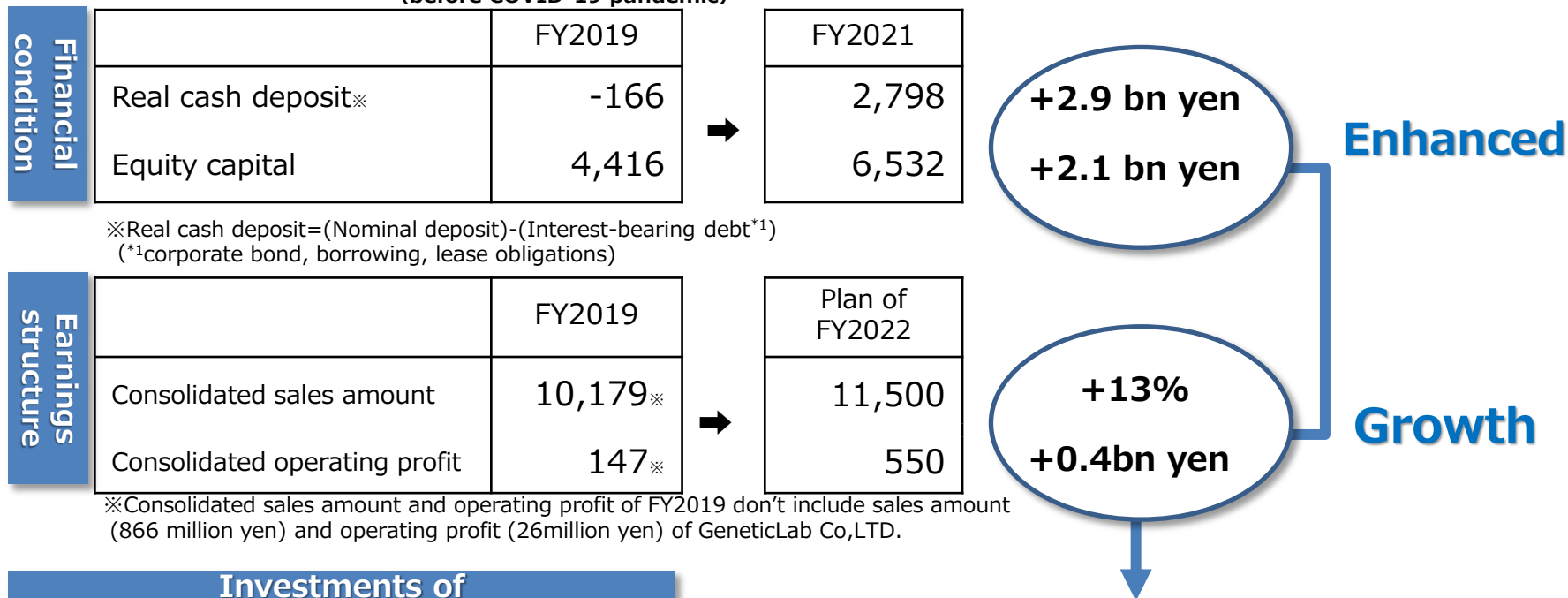


## IV. Others

## Concentrating management resources on core business

### 【Change in Financial condition and Earnings structure】 unit : million yen

(before COVID-19 pandemic)



**Accelerating growth investment**  
**Expanding revenue base**

Investments of FY2019 to FY2021	
Cumulative amount of capital investment for CRO business	688
Money invested in M&A	983
<b>Total</b>	<b>1,671</b>



~ For Healthy and Affluent Lives of People Around The World ~

<https://www.transgenic.co.jp>